

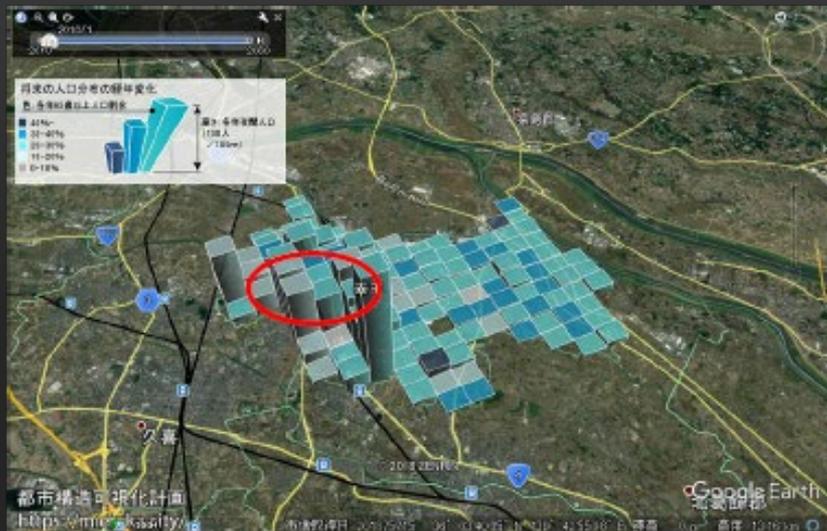
合意形成ツールとしての都市構造可視化  
～幸手都市計画区域事務連絡協議会研修  
会での活用～

埼玉県 都市整備部 市街地整備課

# 1. 幸手市の状況把握（人口）

幸手市の人口分布についてGoogle Earthにて可視化します。

## ・ 幸手市の人口分布（現在～未来）



縦軸：各年夜間人口

色：各年65歳以上人口割合

← 2010年

↓ 2060年

都市構造可視化計画

Webサイトにおいて活用できるデータを紹介します。



東武日光線、国道4号の軸上から、久喜市（旧鷲宮町側）にかけて人口が集積していることが伺える。  
しかし、50年後を見ると久喜市側と日光線の間にあった集積が崩れている。

## 2. 幸手市の状況把握（市街地）

幸手市の市街化の拡散についてGoogle Earthにて可視化します。

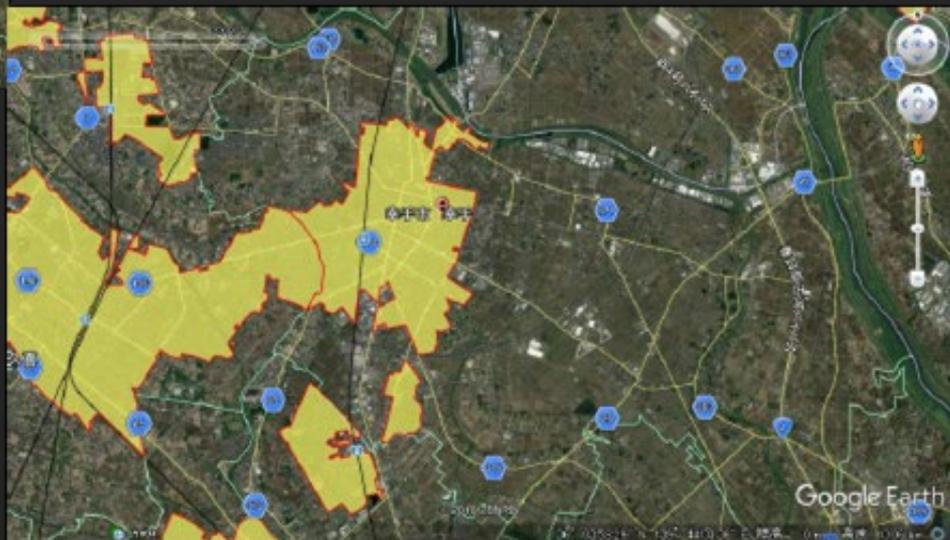
### ・ 幸手市の人口分布（過去～現在）



色：DID区域  
←1970年  
↓2010年

都市構造可視化  
計画Webサイトにお  
いて会員登録して、  
活用できるデータを  
紹介します。

過去から現在を見てみると、幸手駅を中心として市街地が拡散していったことが読み取れる。また、久喜駅、杉戸高野台駅側から市街地が拡がりを見せ、久喜駅と幸手駅の間では、市街地が連続している。杉戸高野台駅周辺では、新たな市街地が形成された。



# 3. 幸手市の状況把握（福祉・医療・商業施設）

福祉・医療・商業施設について可視化します。

## ● 医療施設の分布（病院・診療所）



ここでは、予めCSVファイルに入力した位置情報をGoogle Earthに取り込んで作成した図面を紹介します。

## ● 福祉・介護施設の分布



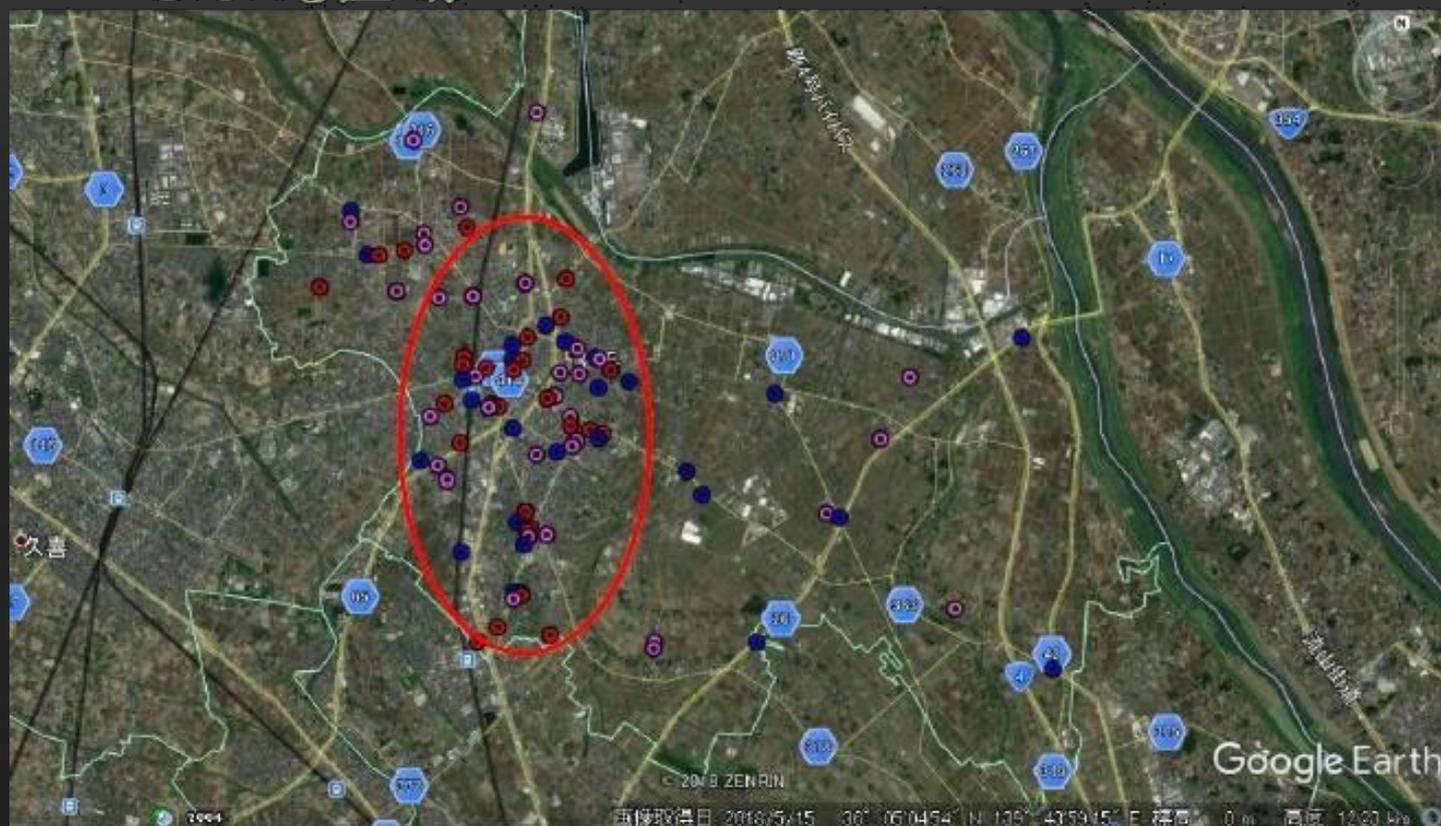
## ● 商業施設の分布（スーパー・コンビニ）



## 4. 居住誘導区域の検討

福祉・医療・商業施設の分布から居住誘導区域を検討します。

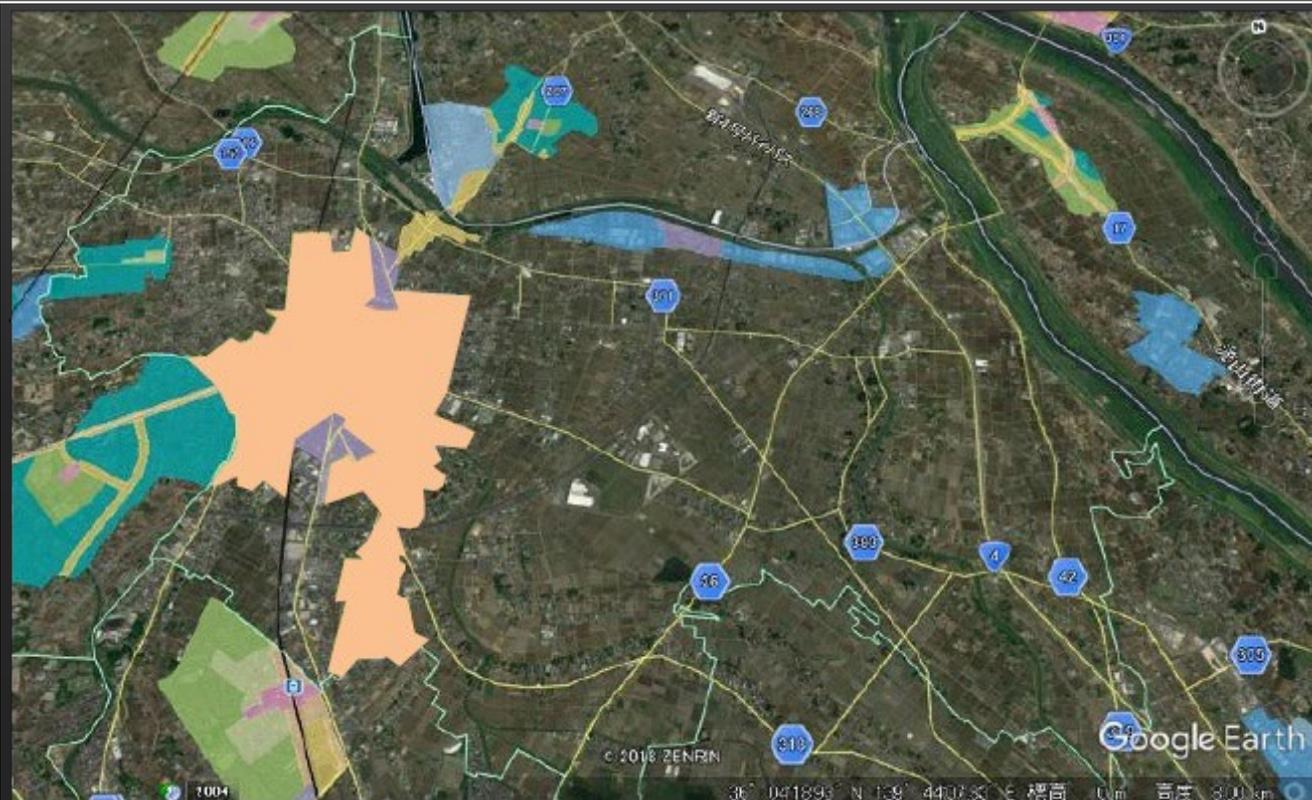
- 誘導施設として想定される医療、商業、福祉・介護施設が立地している区域



市西部に集積しているため、今後も維持を続ける誘導施設として位置付けることを想定すると、市西部が居住誘導区域となる。

## 5. 居住誘導区域の設定

先ほどの分布と住居系用途地域を重ね区域設定を行います。

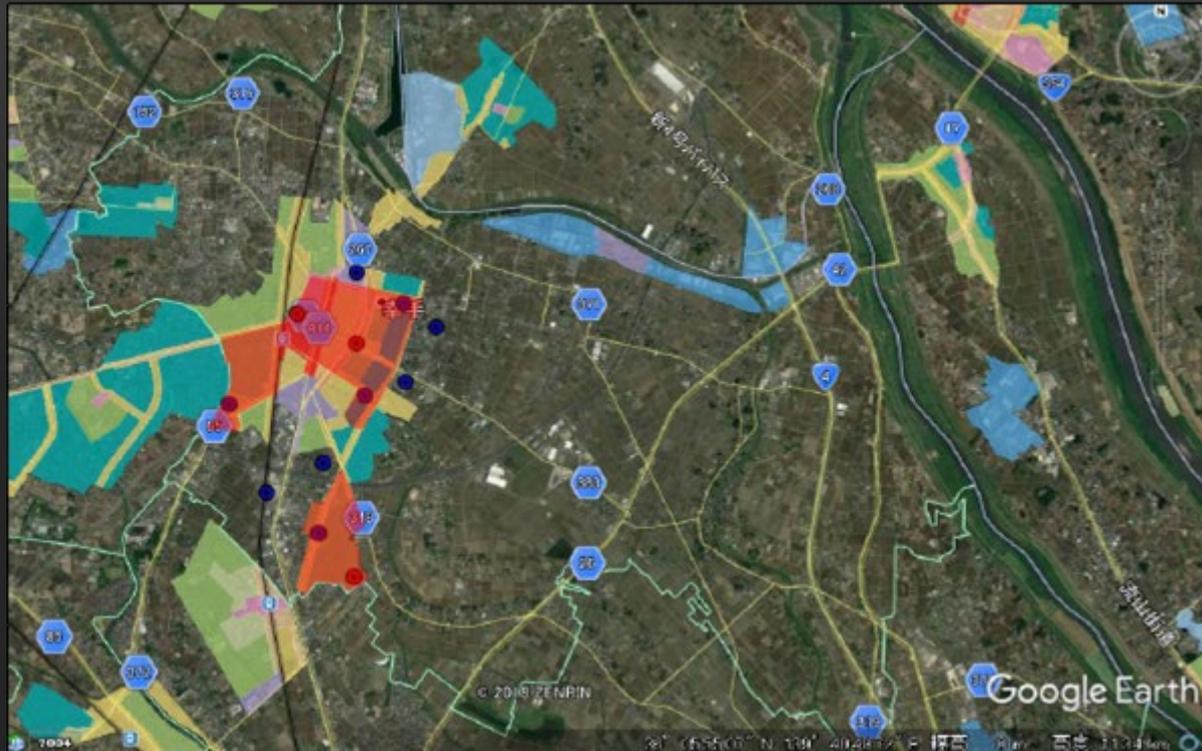


ここでは、CSVから取り込んだ分布図と会員登録にて利用できるデータ（用途地域）を重ね、居住誘導区域を検討しました。

（クリーム色が居住誘導区域）

## 6. 都市機能誘導区域の設定

大型商業施設・救急指定病院を抽出し同様の検討を経て区域設定します。



ここでも、CSVから取り込んだ分布図と会員登録にて利用できるデータ(用途地域)を重ね、都市機能誘導区域を検討しました。

(赤色が都市機能誘導区域)

埼玉県 都市整備部 市街地整備課